

平沼の平の兵を追討いたして如何をも以てた
まき土橋を築き始めしに鈴木左平右衛門左
衛門以下は多く討死せしむ歩卒は少しも支へ
られず遂に行くを追かきうつに散く成て
逃げ行きたる東海林方に狼を付けて沼の平の
鎮をとり取りたる

沼の平鎮義兵を擧ぐる事

沼の平なる所は月山の林原岩根沢と云らして險
峻の山道を越へ谷川を隔て人馬も通ひ難き要
害の所あるに勇猛の東海林一門與類をかこむ

舊將を集めて武久が援助同宗女木戸太郎
左衛門次郎・雨瀬田満・通津末吉・六生田九
左衛門等を始め名をふる者二百余人家の子良
等都て二千余人となりて東海林集人助は
沼の平に籠り子息二郎昌勝といふ岩根沢の山
奥鴉川と云ふ通ひかき下は俄か柵を結び廻し
の城にお構ひ人を取らば兵糧矢玉を運びて日吉姫を
娯め女性童等を恐るをも救多の兵士をえりて堅固
に守らせかゝる沼の平といふ山形勢必るを考へ来りて
とて用心堅固に待たせしむる去程に白岩松永